

## 平成21年度 第4回沖縄県5大がん地域連携クリティカルパス全体会議議事要旨

日 時 : 平成22年2月3日(水) 19:00~21:00

場 所 : 琉球大学医学部附属病院 管理棟3階 大会議室

構成員 : 26名

出席者 : 15名

増田昌人(琉球大学医学部附属病院院)、比嘉宇郎(那覇市立病院)、下地英明(琉球大学医学部附属病院)、白石祐之(琉球大学医学部附属病院院)、友利寛文(那覇市立病院)、大田守仁(豊見城中央病院)、照屋孝夫(琉球大学医学部附属病院)、川畑勉(国立病院機構沖縄病院)、照屋淳(北部地区医師会病院)、宮里浩(那覇市立病院)、佐村博範(琉球大学医学部附属病院)、上田真(沖縄県立中部病院)、宮国孝男(琉球大学医学部附属病院)、蔵下要(浦添総合病院)

陪席者 : 仲本奈々(琉大病院がんセンター)

### [報告事項]

1. 平成21年度第3回5大がん地域連携クリティカルパス全体会議議事要旨  
平成21年度第3回5大がん地域連携クリティカルパス全体会議議事要旨が承認された。
2. 『がんの地域医療連携アンケート』結果  
がん術後フォローアップの病診連携に興味があると答えた施設が約5割、患者の状況に応じて受け入れ可能と答えた施設が7割を超えて、概ね協力的な回答が得られたとの報告があった。
3. 5大がん地域連携パス研修会  
5大がん地域連携パス研修会の実施状況について報告があった。
4. 各ワーキンググループ長からの報告
  - (1) 大腸がんワーキンググループ グループ長 宮国 孝男(琉大病院)
  - (2) 乳がんワーキンググループ グループ長 下地 英明(琉大病院)
  - (3) 胃がんワーキンググループ グループ長 照屋 孝夫(琉大病院)
  - (4) 肺がんワーキンググループ グループ長 白石 祐之(琉大病院)
  - (5) 肝がんワーキンググループ グループ長 佐村 博範(琉大病院)各グループ長から作成した、自己チェックシートについての報告があった。

### [協議事項]

1. 地域連携クリティカルパスの運用方法について  
かかりつけ医への連携パスの送付は、当該書類を患者へ持参していただくことが最優先で、持参が難しい場合は郵送で対応することが決定した。FAXでは誤送信の可能性があるのでなるべく避けて頂くよう文言を追加することが承認された。
2. 地域連携クリティカルパスへの参加方法について  
パス事業への参加申し込みのため、かかりつけ施設用と専門施設用の2種類を作成したことが報告された。専門施設側申込書では、各疾患の担当医師1名のみの記載ではなく、代表者の1名に加えて、複数の担当医師を記載してもらうことが承認された。また、それぞれのメールアドレスも記載してもらうこととなった。  
専門施設側の申込条件として、パス事業への参加する施設の一覧を沖縄県がん診療連携協議会と沖縄県の4拠点病院のホームページで公開することが承認された。また、24時間対応可能な施設であり、緊急な患者さんの対応は常時いつでも対応するとの文言を追加することとなった。

現在の術後のフォローパスの他に、今後の連携パス作成の資料として、施設で診療可能な範囲を記載していただくアンケートを実施することが承認された。アンケートの詳細な項目については、各ワーキングで検討することになった。

3. 5大がん地域連携クリティカルパス作成WGの解散について

平成22年3月31日をもって5大がん地域連携クリティカルパス作成WGは解散することが承認された。

4. 5大がん地域連携クリティカルパス運用WGの結成について

平成22年4月1日から新たに5大がん地域連携クリティカルパス運用WGを結成することが承認された。構成員として、本日の全体会議に出席していただいた15名の委員には、継続して運用WGにも入って頂くこととなった。また、かかりつけ施設側の委員は各地区医師会に推薦を依頼することになった。その他、地域連携室の職員にも依頼することが承認された。